

2023 年 8 月 30 日

各位

会社名 株式会社オーネックス  
代表者名 代表取締役社長 鶴田 猛士  
(コード番号 5987)  
問合せ先 取締役管理本部長 田島 圭子  
(TEL.046-285-3664)

### 取締役会の実効性評価のためのアンケート結果に関するお知らせ

当社は、下記のとおり取締役会の実効性評価のためのアンケート調査を実施し、2023 年 8 月 30 日の取締役会において結果を報告しましたので、その概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1 実施概要

##### (1) 対象者

取締役及び監査役の全員（取締役 6 名、監査役 3 名）

##### (2) 実施期間：2023 年 7 月

##### (3) 方 式

無記名アンケートと自由記述

##### (4) 評価点

4 点：十分なされている。 3 点：ある程度なされている。

2 点：どちらともいえない。 1 点：不十分である。

##### (5) 対象コード：補充原則 4-11③

『取締役会は、毎年各取締役の自己評価なども参考にしつつ取締役会全体の実効性について分析・評価を行い、その結果の概要を開示すべきである。』

## 2 評価結果の概要

### (1) 評価項目

大項目	小項目
メンバー構成	1.取締役会の員数は適切か。
	2.社内取締役・社外取締役の割合は適切か。
	3.構成員の多様性（性別、専門性、経験、能力等）は確保されているか。
取締役会の議題等	4.取締役会の開催頻度は適切か。
	5.付議事項の数、内容及びタイミングは適切か。
	6.取締役会で審議すべき事項が付議されているか。
	7.取締役会資料は質的・量的に十分か、分かりやすいか。
	8.審議すべき付議事項が多すぎないか。
	9.付議事項の事前説明は十分になされているか。
取締役会の運営状況	10.自由闊達で建設的な議論・意見交換を行う雰囲気が醸成されているか。
	11.自分自身は、適切な内容の意見を十分な回数述べているか。
	12.迅速かつ柔軟な意思決定がなされているか。
モニタリング	13.取締役会の候補者の指名について適切な方針が定められ運用されているか。
	14.各取締役の業績評価は適切に行うことができたか。
	15.最高経営責任者等の後継者計画は適切に監督されているか。
	16.取締役の報酬額及び決定方針は適切か。
	17.取締役・監査役に対するトレーニングは十分に行われているか。
	18.社外取締役も企業の事業環境や事業特性を理解できる資料が提供されているか。
内部統制	19.不祥事があった場合、その調査、処分、改善策の立案などを適切に行ったか。
	20.監査役が実効的に監査が行われることを確保するための体制をとっているか。
	21.当社の事業に影響する主要なリスクに関して十分理解し議論できているか。
	22.取締役会において関連当事者との間の利益相反が適切に管理されているか。
IR・PR	23.IRの活動状況についてどうか。
	24.PR活動は現状でよいか。
配当	25.配当方針について現状でよい。

### 3 大項目別評価結果の概要及び（評価点）

#### （1）メンバー構成（3.9）

- ・社内取締役4名、社外取締役2名となっており、当社の規模から妥当な構成である。
- ・技術系、管理系ともに多様性に問題はない。

#### （2）取締役会の議題等（3.8）

- ・書面審議も含め議題等は適切である。
- ・資料の提出を現状より2日程度早められればより分析が深くできる。
- ・顧客の要望に応える業種であり現状把握が多いが、顧客に働きかける戦略やイノベーションに関する審議があってもよい。
- ・業績報告は妥当と考えるが、リスク管理、IT投資、人材育成については、深く審議すべきと考える。

#### （3）取締役会の運営状況（3.8）

- ・実質的な議論に基づき、迅速で柔軟な意思決定が行われている。
- ・経営会議で適切な内容の意見を十分な回数述べていると考えるが、取締役会では重複を避けるため発言を控えるケースもある。

#### （4）モニタリング（3.1）

- ・候補者指名について実際には適切な方針があり、しっかり運用されていると考えるが、文書化するなど改善の余地はある。
- ・オーナー系企業として運営されてきたため、後継者計画は今後の課題となっている。
- ・定期的な勉強会（外部講師を招へいして）を行うなど改善の余地がある。
- ・社外取締役も事業環境や事業特性を理解できる資料がある程度提供されているが深い議論を行うには改善の余地がある。

#### （5）内部統制（3.8）

- ・リスクの範囲をより広く定量的に捉え、かつ継続的に改善状況を議論する必要があると考える。
- ・監査法人、内部統制室とも連携しリスクを把握している。

#### （6）IR・PR（3.4）

- ・熱処理という事業の性格上、投資家に分かりにくい点が多くIR活動のやり方を検討する必要がある。
- ・部品加工業なので一般的なPRは難しいが、ESGについての取組みをもっとPRしたい。

#### （7）配当（4.0）

- ・安定配当を行っており現状で良いと考えている。

4 自己評価シートに対する回答評価点表（別紙）

5 まとめ

今回から評価を点数化しておりますので、取り組むべき課題を定量的に導き出し、各年毎に評価結果を踏まえまして、取締役会の運営や体制などの継続的な改善に努め、取締役会の実効性確保に役立てたいと考えております。

以上

取締役会の自己評価シートに対する回答評価点表(2023.7月)

3.5以下

3.0以下

大項目	メンバー構成			取締役会の議題等						取締役会の運営			モニタリング						内部統制				IR/PR		配当		
小項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25		
取締役	A	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	B	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	
	C	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4	4	4	3	4	4	
	D	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	3	4	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4
	E	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4	3	2	1	2	3	4	3	4	3	4	2	3	4	4
	F	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	4	3	3	2	4	3	3	4	3	2	4	3	3	4
監査役	G	4	3	3	4	4	3	4	4	4	3	3	4	3	3	3	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4
	H	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	1	1	1	3	3	4	4	3	4	3	3	4	4
	I	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	3	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4
質問平均	3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	3.8	3.8	3.9	3.4	3.8	3.6	4.0	3.4	3.0	2.3	3.3	3.1	3.6	3.8	3.8	3.6	4.0	3.4	3.3	4.0	4.0	
構成平均	3.9			3.8						3.8			3.1						3.8				3.4		4.0		
【評価点】 4:十分なされている 3:ある程度なされている 2:どちらともいえない 1:不十分である																											